

**製品名: PHF8 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84004**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.59mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000, ICC 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 118 kDa ; Observed MW: 140 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PHF8
別名	Histone lysine demethylase PHF8; MRXSSD; PHD finger protein 8; PHF8; ZNF422;;PHF8
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UPP1
免疫原	ヒト PHF8 由来の合成ペプチド

**背景**

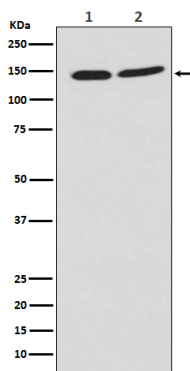
ジメチル化およびモノメチル化を選択的に行うヒストンリジン脱メチル化酵素は、細胞周期の進行、rDNA 転写、脳の発達において重

要な役割を果たします。モノメチル化およびジメチル化されたヒストン H3 の Lys-9 残基 (H3K9Me1 および H3K9Me2) 、ジメチル化された H3 の Lys-27 残基 (H3K27Me2) 、およびモノメチル化されたヒストン H4 の Lys-20 残基 (H4K20Me1) を脱メチル化します。H3K9Me1、H3K9Me2、H3K27Me2、および H4K20Me1 はエピジェネティックな抑制マーカであるため、転写活性化因子として作用します。G1-S 期遷移の制御に必要であり、細胞周期の進行に関与します。

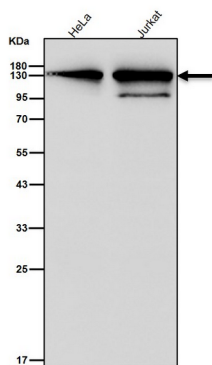
## 研究分野

-

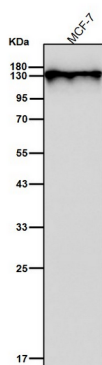
## 画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における PHF8 発現のウェスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。